



大里農林振興 センターだより

発行 埼玉県大里農林振興センター

熊谷市久保島1373-1（管理部）☎048-523-2812(代表)

（農業支援部）☎048-526-2210(直通)

深谷市上野台244-2（農村整備部）☎048-571-2241(代表)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0906>

第14号（年2回発行）



農地中間管理事業 ～制度の紹介と管内の現状～

1 農地中間管理事業とは？

今ある農地を、次の世代につなげていくための制度です。農地について「貸す人（地権者）」と「借りる人（耕作者）」の間を公的機関（埼玉県農林公社）が仲介し、農地の集積・集約を図る取組です。

貸す人の農地情報を集め、借りる人が効率的に農作業できるよう、近隣の農地をまとめて貸し付けられるように考慮します。借りる人が集まって調整することが多いです。貸す人、借りる人それぞれに次のようなメリットがあります。

貸す人

- ・地域で取り決めるため賃料が確実に入る
- ・賃借契約終了後、農地が確実に戻ってくる、契約を更新することも可能である
- ・固定資産税の税制の優遇措置、贈与税・相続税の納税猶予措置

など

借りる人

- ・賃借料の支払い先が農林公社に一本化され煩雑さがなくなる
- ・まとまった農地を借りやすくなる
- ・担い手として、優先的に農地が紹介される

など

2 管内の現状

令和4年度の重点推進地区として、熊谷市が20地区、深谷市で9地区、寄居町で7地区設定され、推進を図っています。

農地中間管理事業の取組をはじめるときっかけは、農地を借りる人（担い手）の高齢化が進んでいて、作業の効率化のために分散したほ場を集積し、集約化するためであることが多いです。

熊谷市の秦南部地区内の一部地域（日向地区）では、ほ場整備事業に向けた農地の集積・集約を進めています。また、深谷市では明戸北部地区、東方地区、寄居町では柏田水利組合で推進に取り組んでいます。

3 事業を活用するための相談先

①これから新たに農地中間管理事業の取組を行いたい地域の方

②すでに農地中間管理事業に取り組んでいる地域で新規に貸す人・借りる人

①、②のいずれも、事業の概要についての問合せは、埼玉県農林公社（048-558-3555）又は当センターへ、取組地域や事業活用の可否についてはお住まいの市町の農政担当課、農業委員会事務局へご連絡ください。

【お問合せ】

管理部 地域支援担当 ☎048-523-2812

CONTENTS < 目次 >

表紙	農地中間管理事業～制度の紹介と管内の状況～	6p	埼玉県農業大学校で営農スキルを学びませんか～令和5年度 学生募集のお知らせ～
2p	麦類の栽培について	6p	農業産出額向上プロジェクト～一緒に進めましょう～
3p	秋の気象災害への対策は大丈夫？	7p	令和3年度に完了した県営事業地区の紹介
4p	環境にやさしく安全・安心な埼玉県特別栽培農産物	8p	～農業用ため池緊急耐震化対策事業「円良田湖地区」～
4p	お取り寄せ埼玉県産農産物応援サイトのご案内		
5p	6次産業化に取り組んでみませんか？		

麦類の栽培について

麦まきは、耕起→砕土→整地→は種→除草剤散布の工程を一つの作業として行いましょう。そのため、降雨を考慮して計画的に行うことが重要です。

例えば、耕起後に降雨があると砕土が不十分になり、出芽率の低下や除草剤の効果が落ち、雑草多発が考えられます。また、は種後に降雨があると除草剤散布が遅れ、雑草多発の原因となることがあります。

1 ほ場準備

（1）麦類の根の特徴

麦類は湿害に弱く、特に大麦が最も弱いです。また、酸性に弱く、大麦が最も弱いです。

（2）土壌条件

細かい土が多い場合、土と土の隙間が多いため根が伸びやすいです。一方、大きな塊が多い土壌は、根が伸びにくく、養水分の吸収が低下しやすいです。

（3）土づくり

地力の維持のため、稲わら、堆肥や土づくり改良資材を施用しましょう。

pHが低いと発根が抑制され、生育が悪くなりやすいです。苦土石灰等の石灰質資材を施用し、酸度を調整しましょう。

（4）耕起

作土層が浅いと、保水力が小さいため、登熟期の気象変動の影響を受けやすいです。

根域を広げるため、作土深20cmを目標とし、毎年2～3cmずつ深耕しましょう。

（5）砕土

砕土は大事な作業です。砕土が良いと、出芽率が高く、除草剤の効果も高いです。

一方、砕土が悪い場合、出芽率が低く、莖数が少ないため収量が低くなる場合があります。

かつ、除草剤の処理層が上手にできず、雑草が多く発生しやすいです。

丁寧に砕土し、出芽率の向上と除草剤の効果を高めましょう。

2 排水対策

収量低下の大きな要因として排水不良による湿害が挙げられます。

湿害を防ぐため、明きよ（排水溝）を、ほ場の外周と5～10m間隔に施工し、排水口へつなげるようにしましょう。

なお、は種期が最も湿害を受けやすいため、は種前に設置するのが効果的です。

3 施肥

収量・品質を確保するには、適正な施肥を行うことが必要です。麦の種類に応じて適正量を施用しましょう。

▲麦類の基肥施肥量(例) (kg/10a)

品 種	化成肥料444
さとのそら	60～70
あやひかり	60～70
彩の星	50
すずかぜ	50

4 は種

大麦は11月5日～20日、小麦は11月10日～25日がは種適期です。

ただし、は種の時期に降雨が予想される場合は、作業を見送り、適期よりも遅まきになった場合は、慣行よりもは種量を増やし、初期生育の遅れをカバーしましょう。

砕土が粗かったり、乾燥しているときは、は種後に鎮圧作業を行い、出芽を揃えましょう。

5 雑草防除

雑草防除は、は種後の土壌処理剤が最も効果があります。砕土を細かくして、除草剤の効果を高めましょう。また、土壌が乾燥している場合は、ローラーで鎮圧し、水量を多めにして土壌処理剤を散布します。

降雨等で、適期に土壌処理剤を散布できない場合は、麦の出芽直後に使用できる莖葉兼土壌処理剤を使用しましょう。

【お問合せ（2ページ・3ページ）】

農業支援部 技術普及担当 ☎048-526-2210

秋の気象災害への対策は大丈夫？

近年、台風やゲリラ豪雨の発生、長雨等、気象災害の発生が多くなっています。特にこれからの季節は台風による被害が予想されます。

1 まずは自身の安全を第一に！

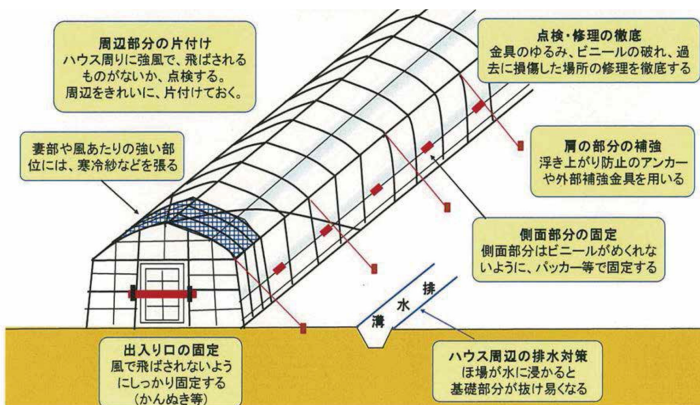
災害に対する事前の作業や、事後の見回り、修復作業を行う際は、気象情報を十分に確認し暴風雨の状況が収まるまでは実施しないなど、人命を最優先に、複数人で行動しましょう。

2 台風対策について

(1) 事前対策について

① 園芸用ハウス等の施設

- ・ フィルムの破れ、支柱、支線、ターンバックルなどを点検・補修し、必要に応じて筋交いを入れるなどして補強します。
- ・ 出入り口、天窓、サイドをしっかり固定し、隙間からの風の吹込みを防ぎます。
- ・ 停電、浸水による漏電等が想定されるので、不必要な電源は遮断します。
- ・ 強風で物が飛んで、被覆フィルムを損傷しないように、ハウス周辺を片付けます。



▲ JA全農資料より

② 露地野菜・花き

共通事項：排水路や明きよの点検・整備を行い、ほ場内に水が停滞するのを防ぎましょう。

(右下写真参照)

ねぎ：強風による倒伏を防ぐため、土寄せできるものは早めに行います。ただし、病害のみられるほ場では土寄せは止めます。

露地なす：強風に備えて、支柱や枝の誘引などの点検・補強を行います。

露地花き：排水対策を行うとともに、フラワーネット等の点検・補強を行います。

(2) 通過後の対策

共通事項：浸冠水したほ場は、速やかに排水します。また、茎葉が風雨によって傷つくと細菌病が発生しやすいので、薬剤による防除を

行います。

ねぎ：天候が回復し、ほ場作業が可能になり次第、軟腐病・白絹病・小菌核腐敗病等を対象に、薬剤による防除を行います。特に収穫期になり軟腐病が懸念されるほ場では、病株が混入しないように厳選し、速やかに収穫・出荷を行います。

露地なす：褐色腐敗病が発生しやすいので、速やかに薬剤による防除を行うとともに、液肥の葉面散布により樹勢回復に努めます。また、風雨によるスレなどで商品価値が低下するとみられる果実は早く摘果します。

ブロッコリー、キャベツ、ハクサイ：軟腐病・べと病・黒腐病等が発生しやすくなりますので、薬剤による防除を行います。また、天候が回復しほ場作業が可能になり次第、早めに中耕を行い、土壌通気性を確保します。定植直後のほ場で表面の土壌が流れた場合は、株の姿勢を直し、株元に軽く土寄せして倒伏やねじれを防ぎます。

ほうれんそう：葉の損傷等が見られた場合には、速やかに薬剤による防除を行い、べと病等の病害の発生を防ぎます。

施設きゅうり・トマト：急激な強日射や湿度低下によって葉焼けの発生が懸念されますので、施設の換気は徐々に行いましょう。施設の密閉や多湿により、きゅうりでは褐斑病、べと病、トマトでは疫病等が発生しやすくなります。天候回復後、速やかに薬剤による防除を行います。



▲ ねぎほ場の排水対策の事例

(うね溝の端がほ場周囲の明きよに繋がっている)

事前に災害に備え、農作物や施設の被害を軽減させるとともに、災害の他にも作物の価格低下などの要因で収入が減少した部分を補償してくれる「収入保険」への加入もご検討ください。

環境にやさしく安全・安心な埼玉県特別栽培農産物

1 埼玉県特別栽培農産物とは？

化学合成農薬の使用回数と化学肥料由来の窒素量を、埼玉県の一般的な栽培体系からそれぞれ5割以上低減して栽培した農産物です。環境にやさしい持続型の農業に貢献することができます。また、農薬等の使用状況を公開するため、安全・安心な農産物として消費者からの信頼が増します。

2 特別栽培農産物を生産するには

播種・植付けの2か月前に、農薬や化学肥料を低減した栽培計画書を当センターに提出します。その後、収穫の1か月前に当センターに認証申請を行い、認証されると埼玉県特別栽培農産物として販売することができるようになります。詳しくは、当センターへお問合せください。

3 特別栽培農産物を味わうには

特別栽培農産物は、主にJAの直売所等で販売されています。コバトンが描かれた緑色の認証マークが目印です。

また、埼玉県特別栽培農産物を1品目以上使用したメニューを提供している県内の飲食店を「特別栽培農産物利用店」として指定しています。

当センター管内では、熊谷市内で3店舗が利用店として指定されています。県産木材を使用した看板が目印です。

ぜひご利用ください。



▲ 特別栽培農産物利用店のリスト
(大里農林振興センター管内)

【お問合せ】

管理部 地域支援担当 ☎048-523-2812

お取り寄せ埼玉県産農産物応援サイトのご案内

県ホームページの「お取り寄せ埼玉県産農産物応援サイト」では、県産農産物等を電話やWEBで注文できる生産者を紹介しています。



掲載商品は、県産の上質な花や旬の野菜、果実、畜産物、スイーツやお酒などの6次産業化商品です。農家のこだわりが詰まった商品を取り揃えています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴うイベントの中止や飲食店等の営業自粛により自慢の商品を提供する機会が減少しています。

当サイトを御利用いただき、ぜひ、地域の生産者への応援をお願いします。

また、当サイトには114農園、119品目が掲載され年間約12万件のアクセスがあります。

年間アクセス数 約48万5千件を誇る埼玉農産物ポータルサイト「SAITAMAわっしょい！」にもリンクが掲載されています。

(令和4年3月末現在)

ホームページ等で通信販売を行っている当センター管内の生産者で、自園の農産物等の掲載を希望される方は、下記担当までお問合せください。

【お問合せ】

管理部 地域支援担当 ☎048-523-2812



▲ お取り寄せ埼玉県産農産物応援サイト



6次産業化に取り組んでみませんか？

1 6次産業化って？

農作物などのもともとの価値をさらに高めることで、生産者の所得を向上させる取組を「6次産業化」と呼んでいます。

農産物の生産販売とは違い、加工技術や販売方法も異なるので新しく学ばなくてはならないことも多くなります。6次産業化は新しい事業を起こすような取組といえます。



もち麦Pon！（ゆたか農場）

自家栽培のもち性大麦を使用した加糖されていない、美容や健康を意識したポン菓子。

2 取り組まれているのは、なぜ？

なぜ、6次産業化の取組は、必要とされてきているのでしょうか？

農業は、地域ごとでいくつかの生産者が共通の作物を栽培することで産地が成り立ってきました。しかし、近年では、手軽に食べることができる加工食品へのニーズの高まり、特定の生産者の野菜に人気が集中したり、ブランドが注目されたりするようになりました。こうした消費者の需要の変化にともない、農業者が所得を伸ばすためには、単純に農作物を生産するだけでなく商品開発や販売方法の工夫が求められるようになってきたからです。



ねぎドレッシング（(株)和ナチュラルテイスト）

特産の新鮮深谷ネギ（ブランド農産物）を使用した食べるタイプのドレッシング。



とうもろこしビール 夏来る （(有)馬場ファミリー農園）

深谷市産とうもろこし（ブランド品種:味来）を原料として製造されたクラフトビール。

3 取り組み支援について

6次産業化を大規模に進めたい方には、農林水産省の総合化事業を活用して取り組む支援を行っていますが、「自分の農産物に付加価値をつけて販売してみたい」「取り組んでみたいが、どうしたらいいかわからない」という方もいらっしゃるかと思います。

6次産業化の取組における商品は多岐にわたっており、様々な知識が必要となります。それぞれの経営にあった取組とするため、当センターでは6次産業化に関する個別相談を随時行っています。

また、必要な知識を習得するための研修会を予定しております。

専門的な知識が必要な取組には、専門家派遣も行っております。

「6次産業化により経営発展を目指そう」とお考えの方は、当センター6次産業化担当までご相談ください。



マーハニーシャンプー&トリートメント （遠藤ファーム(株)）

緑肥として育てた草花でミツバチを育て採取したハチミツを20%使用した循環型商品。

【お問合せ】 農業支援部
6次産業化(新規就農・法人化)担当 ☎048-526-2210

埼玉県農業大学校で営農スキルを学びませんか

～令和5年度 学生募集のお知らせ～

埼玉県農業大学校は、埼玉県の未来を担う優れた農業者や関連産業の担い手を育成するために埼玉県が設置している学校です。

同校では農業生産から加工、流通、販売まで一貫した学習を行えるほか、大型特殊自動車（農耕車限定）免許やフォークリフト運転資格（1t以上）、毒物劇物取扱責任者など各種資格取得の機会が得られます。さらに近年は、スマート農業関連の先端技術や就農・就職等将来の希望に応じたコース別学習を行うなど学習体制を充実させています。

入学願書などの出願書類は、埼玉県農業大学

校のほか、大里農林振興センターでも入手できます。また、埼玉県農業大学校ホームページからも、出願書類等をダウンロードできます。

募集人員、入試日程は下表のとおりです。詳しくは、農業大学校または当センター農業支援部までお問合せください。

【お問合せ】

農業大学校HP

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0921>

農業大学校TEL ☎048-501-6845

農業支援部(新規就農・法人化担当)☎048-526-2210

埼玉県農業大学校

検索



※日程が変更となる場合があります。また、一般入試の前期試験で定員が満たされた専攻は、後期試験を実施しない場合があります

募集人員および入試日程

学科（専攻名）	募集人員	出願期間	試験日	合格発表
野菜（施設栽培・露地栽培）	30人	前期：R4.11.1(火)～11.11(金)	R4.11.28(月)	R4.12.5(月)
水田複合（水田複合）	5人			
花植木（花き・植木造園）	15人	後期：R5.1.4(水)～1.11(水)	R5.1.26（木）	R5.2.1(水)
酪農（酪農）	5人			
短期農業（短期野菜・有機農業）	35人			

農業産出額向上プロジェクト ～一緒に進めましょう～

農業産出額の向上は生産者の皆さんの稼ぐ力に直結します。近年、埼玉県や大里地域では、農業産出額が減少しており、この状況に歯止めをかけ増加に転じさせるため、昨年度から、各市町・JAと連携して3つの取組からなるプロジェクトを始めました。

令和4年度の取組状況

<これまでの取組>

①水田を活用したねぎの作付拡大や夏ねぎの導入による、ねぎの生産拡大

➡ねぎ栽培を行っている主穀法人への栽培指導や、経営拡大に向けた取組などの聞き取り調査を実施

➡熊谷市との共催により、主穀農家などに向けてねぎ栽培講習会を開催（8月22日）

②えだまめなど、ねぎの輪作作物導入による難防除病害虫の回避、更には経営安定

➡スマート農機を導入した大規模野菜生産法人で、枝豆省力機械化体系の実証試験を開始

③新規作物の導入や新たな農産物のブランド化による収益向上

➡□□ンカボチャや青パパイアの栽培指導を実施

<今後の取組>

- ・大規模主穀生産者を招いて意見交換会を開催する予定です。ねぎなどの作付けに向けて、何が課題で何が必要なのかを率直に話し合い、次のステップへつなげていきます。
- ・野菜生産者への大型機械の導入による生産規模の拡大や、農地中間管理事業を活用した作付拡大、新規作物の導入のための栽培技術習得などの支援も引き続き行います。
- ・このプロジェクトの取組を通じて、生産者の皆さんの稼ぐ力が向上し、経営が安定・発展できるよう、県・市町・JAが一緒になって取り組んでいきます。



令和3年度に完了した県営事業地区の紹介

～農業用ため池緊急耐震化対策事業「円良田湖地区」～

円良田湖は、昭和17年から29年にかけて、造成された農業用のため池です。県立長瀬玉淀自然公園内にあり、ワカサギやヘラブナ釣りで親しまれているほか、桜や紅葉などの美しい自然環境にあることから湖岸沿いにふるさと歩道が整備されており、ハイキングコースとしても人気です。周囲の山地から集水・貯水された用水は、寄居町、美里町、深谷市の水田をかんがいでいます。

東日本大震災で福島県内のため池が決壊したことを契機として、全国的に農業用ため池の点検と耐震診断が行われました。円良田湖では、平成25年に寄居町がため池の点検と耐震調査を行ったところ、地震に対する堤体の安全率が基準を下回る結果となりました。

円良田湖は、堤体が21mと高く、下流には人家や公共施設があり、決壊した場合には甚大な被害が及ぶことが想定されるため、早急に耐震対策を行う必要がありました。そのため、平成29年度から耐震補強工事を行い、令和3年度に完了しました。



▲ 工 事 前



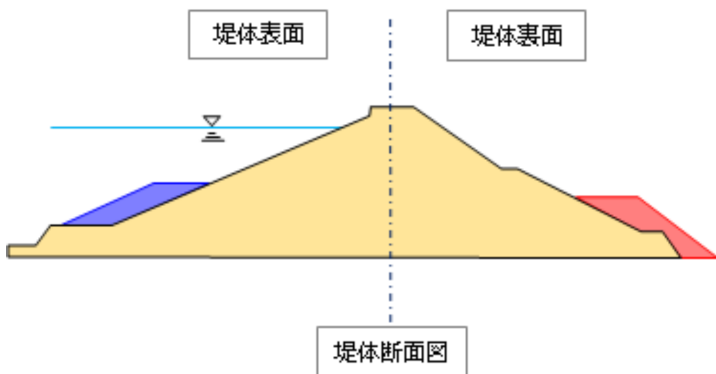
▲ 施工中（堤体裏面 石張工）



▲ 工 事 後

【円良田湖地区の概要】

- 受益面積 142.6ha
- 総事業費 288,035千円
- 事業期間 平成29年度～令和3年度



- 堤体表面：袋詰根固工により堤体を補強
- 堤体裏面：石張工により法面浸食を防止

【お問合せ】
 農村整備部 県営事業担当 ☎048-571-2242

江戸時代から続く取水口 六堰頭首工の紹介

ろくせきとうしゅこう
六堰頭首工は、一級河川荒川から取水し、熊谷市をはじめ深谷市・行田市・鴻巣市の水田3,820haに「農業用水」を供給する施設として整備されました。

現在の六堰頭首工は、大里用水と山王用水に水を供給していますが、その1つ、大里用水の歴史は古く、徳川家康の江戸周辺穀倉開発まで遡ります。

慶長7年（西暦1602年）に熊谷市と深谷市（旧川本町）の境界付近の荒川に「奈良堰」を築造したのが始まりです。その後十数年間で、荒川の左岸・下流に向かって「玉井堰」、「大麻生堰」、「成田堰」が、右岸には「御正堰」、「吉見堰」（万吉堰とも呼ばれています）の六つの堰が造られました。

荒川は、日照りが続くと極端に水量が減少するため下流に位置する堰では取水不能となり、上・下流農民の間での「水争い」が絶えませんでした。

また、大雨の際には荒川という名前のおりたちまち洪水が発生し、木や石を組み合わせた簡素な造りだった堰は押し流されて、度々、造り直す苦難を強いられていました。

これら長年の課題を解消するため、昭和14年（1939年）に深谷市（旧花園町）永田地先に六つの堰を統合した「六堰頭首工」（永田堰）が建設されました。

取水口が統合されて、地区全体の用水施設は通称「大里用水」と言われています。



▲ 旧六堰頭首工

建設から約60年経ち「六堰頭首工」や「江南サイフォン」（荒川左岸から右岸へ用水を送る地下水路）は、荒川の河床低下や施設の老朽化も進み、洪水で流失する危険がありました。

そこで、国・県・地元市町村・土地改良区等が協議し山王用水も合わせ新しい六堰頭首工を整備することになり、農林水産省が事業主体となって平成6年から「国営大里総合農地防災事業」として、関連施設も含めた工事が始められました。

2代目「六堰頭首工」は、平成15年3月に旧六堰頭首工から約100m下流の位置に完成しましたが、その維持・管理を埼玉県が行っており、安定した農業用水を地域に供給しようと日夜努力しています。

その結果、大里地域が県内有数の農業生産地の座を維持しているとともに、六堰から取水した用水は、熊谷市内を流れる「星川のせせらぎ水路」にも活用されており、熊谷市民の「憩い・安らぎ」にも寄与しています。

六堰頭首工周辺全景



▲ 六堰頭首工 上空から



▲ 現在の六堰頭首工

【お問合せ】六堰頭首工管理所
深谷市永田3-5 ☎ 048-579-2640